

平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金（がん臨床研究事業）
相談支援センターの機能の評価と地域における活用に関する研究
（研究代表者 高山 智子）
分担研究報告書

相談支援センターの院内外を含めた機能と役割、位置づけに関する検討

研究分担者 岡本直幸 神奈川県立がんセンター特任研究員

研究要旨

地域がん診療連携拠点病院は全国で 397 施設（平成 25 年 3 月）が指定されている。指定された病院は大学病院を中心とする特定機能病院、がん専門施設で構成される全国がん（成人病）協議会（全がん協）加盟施設などの特徴を有しており、がん医療に関しすべての拠点病院が同一のがん医療環境に在るわけではない。そのため、相談支援センターの機能や規模に関しても施設の開設目的に応じた内容に依存せざるを得ないと思われる。そのため、地域がん診療連携拠点病院現況調査（2012 年調査）の資料を用いて解析を行った結果、拠点病院の施設に応じた相談支援センターの在り方を検討する必要性があることが明らかとなった。

A. 研究目的

地域がん診療連携拠点病院は全国で 397 施設（平成 25 年 3 月）が指定されている。指定されている施設は、当該地域におけるがんの診断・治療やがん患者・家族の支援を積極的に行うことが期待されており、とくにがん患者支援を目的とした相談支援センターの設置が義務付けられており、積極的な運営が望まれるところである。

しかし、各施設は設立母体やその目的によって同一に扱うことができないと思われる。大学病院を中心とする特定機能病院、がん専門施設で構成される全国がん（成人病）協議会（全がん協）加盟施設などの特徴を有しており、がん医療に関してすべての拠点病院が同一のがん医療環境に在るわけではない。

そのため、地域がん診療連携拠点病院に義務付けられている「相談支援センター」の機能や規模に関しても施設の開設目的に応じた内容に依存せざるを得ないと思われる。そのため、地域がん

診療連携拠点病院現況調査（2012 年調査）の資料を用いて、それぞれの拠点病院の施設状況に応じた相談支援センターの在り方を検討することを目的として本研究を昨年度に引き続き実施した。

B. 研究方法

地域がん診療連携拠点病院現況調査 2012 年の報告データをもとに解析を行った。現況調査のデータは、大学付属病院、全がん協加盟施設、一般病院（病床数 499 以下）、一般病院（病床数 500 以上）の 4 群に分けて集計・解析を行った。

（倫理面への配慮）

拠点病院の施設調査データを用いており、患者個人を特定する項目は全く使用していない。

C. 研究結果

2012 年に調査された「地域がん診療連携拠点病院現況調査」のデータをもとに、A 群：大学付

属病院（85施設）、B群：全国がん（成人病）センター協議会加盟施設（29施設）、C群：病床数500床未満の病院、D群：病床数500床以上の病院の4群に分けて集計・解析を行った。

表1に示すように入院患者中の「がん患者割合」をみると、A群29%、B群62%、C群22%、D

群23%という回答であった。また、新規入院患者中のがん患者割合も各群同様な値を示した。

調査内容のなかで、相談支援センターの業務に関連すると思われる項目に関して4群別に集計を行ったところ（表2）

表1 病院機能別一般病床数ならびに入院がん患者・新規入院がん患者割合(2012年調査)

項目	大学付属病院 (85施設)	全がん協施設 (29施設)	500床未満病院 (136施設)	500床以上病院 (147施設)	総計 (397施設)
一般病床数	833.4 (224.1)	537.9 (162.4)	383.6 (80.3)	663.7 (153.3)	595.6 (231.1)
入院患者中 がん患者割合	0.29 (0.07)	0.62 (0.31)	0.22 (0.10)	0.23 (0.06)	0.27 (0.15)
新規入院患者中 がん患者割合	0.28 (0.07)	0.63 (0.31)	0.22 (0.10)	0.27 (0.07)	0.27 (0.16)

地域医療支援病院の承認を受けた施設はC、D群が多く、夜間救急対応に関してはB群で55%と少なかった。また、緩和ケア病棟に関してはA群で9%と低かった。SO外来の設置はC群で67%と他群に比較して低い割合であった。

定期的に患者支援を行っている施設は各群共に80%以上を占め、また、患者・家族を対象としている施設が多く、相談支援センターとしての役割が実施されていることが伺えたが、電話相談用の窓口として直通の電話を準備している施設はA、B群で70%以上であったが、C、D群では50%以下であった。しかし、Faxによる相談や電子メールによる相談の実施に関してはC、D群の実施割合が高かった。

相談支援センターにおけるがん情報の収集活動に関しては各群で大きな差は認められなかった。

D. 考察

地域がん診療連携拠点病院に指定された施設は、各施設の設立母体・目的等によってその機能に大きな違いがあることが示された。とくに、B

群（全がん協加盟施設）以外では、入院がん患者割合が30%以下と低く、日常業務の中心ががん患者ではない患者の対応が中心であることが推測された。電話相談に関しては、相談者の保護の観点からも直通電話の設置が望まれるが、C、D群では40%強の施設に留まっていた。

E. 結論

相談支援センターの役割や位置付けは、全国のがん診療連携拠点病院で一律の対応を実施するのではなく、設立母体やその医療機関の専門性、病床数ならびに年間がん患者治療割合によって対応すべきであると思われた。

F. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

表2 病院機能別回答数および割合(2012年調査資料より)

項 目	大学付属病院 (85施設)	全がん協施設 (29施設)	500床未満病院 (136施設)	500床以上病院 (147施設)	総計 (397施設)
地域医療支援病院承認あり	3 (0.04)	9 (0.31)	71 (0.52)	98 (0.67)	181 (0.46)
夜間救急対応可	84 (0.99)	16 (0.55)	135 (0.99)	147 (1.00)	382 (0.96)
治験審査委員会あり	84 (0.99)	28 (0.97)	120 (0.88)	143 (0.97)	375 (0.94)
在宅支援あり	11 (0.13)	5 (0.17)	12 (0.09)	21 (0.14)	49 (0.12)
院内における医科歯科の連携	75 (0.88)	25 (0.86)	62 (0.46)	116 (0.79)	278 (0.70)
緩和ケア病棟を有している	8 (0.09)	15 (0.52)	27 (0.20)	30 (0.20)	80 (0.20)
セカンドオピニオン外来	77 (0.91)	25 (0.86)	91 (0.67)	123 (0.84)	316 (0.80)
リンパ浮腫外来あり	40 (0.47)	17 (0.59)	35 (0.26)	51 (0.35)	143 (0.36)
がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場を設けている。	81 (0.95)	28 (0.97)	130 (0.96)	139 (0.95)	378 (0.95)
相談支援センターの地域での広報誌による広報	39 (0.46)	12 (0.41)	58 (0.43)	63 (0.43)	172 (0.43)
我が国に多いがん以外のがんについて、集学的治療等を提供する体制を有し、及び標準的治療等を提供している場合は、そのがんの種類等を広報している。	69 (0.81)	26 (0.90)	81 (0.60)	102 (0.69)	278 (0.70)
進行中の臨床研究(治験を除く。以下同じ。)の概要及び過去の臨床研究の成果を広報している。	52 (0.61)	23 (0.79)	39 (0.29)	66 (0.45)	180 (0.45)
患者図書館やインターネット環境など、患者が使うことができる情報ツールがある。	67 (0.79)	26 (0.90)	91 (0.67)	120 (0.82)	304 (0.77)
地域住民を対象としたがん検診・がん予防・がん診療に係る公開講座、あるいはマスメディアを通じたがん診療に関する情報提供に取り組んでいる	81 (0.95)	28 (0.97)	119 (0.88)	130 (0.88)	358 (0.90)
患者支援職員の関与あり	76 (0.89)	23 (0.79)	123 (0.90)	127 (0.86)	349 (0.88)
患者支援定期	76 (0.89)	26 (0.90)	116 (0.85)	120 (0.82)	338 (0.85)
患者・家族	77 (0.91)	27 (0.93)	124 (0.91)	129 (0.88)	357 (0.90)
患者のみ	3 (0.04)	1 (0.03)	5 (0.04)	11 (0.07)	20 (0.05)
1.がんの病態や標準的治療法等がん診療及びがんの予防・早期発見等に関する一般的な情報の収集を行っている:実績	80 (0.94)	29 (1.00)	132 (0.97)	141 (0.96)	382 (0.96)
2.がん患者の療養に関する一般的な情報の収集を行っている:実績	82 (0.96)	29 (1.00)	134 (0.99)	144 (0.98)	389 (0.98)
3.アスベストによる肺がん及び中皮腫に関する一般的な情報の収集を行っている:実績	76 (0.89)	28 (0.97)	122 (0.90)	132 (0.90)	358 (0.90)
4.HTLV-1関連疾患であるATLに関する一般的な情報の収集を行っている:実績	74 (0.87)	25 (0.86)	111 (0.82)	122 (0.83)	332 (0.84)
5.がんの診療機能に関する情報の収集を行っている:(がん診療連携拠点病院)実績	80 (0.94)	28 (0.97)	132 (0.97)	138 (0.94)	378 (0.95)
6.入院・外来の待ち期間に関する情報の収集を行っている:(がん診療連携拠点病院)実績	52 (0.61)	20 (0.69)	80 (0.59)	86 (0.59)	238 (0.60)
7.医師の専門とする分野・経歴に関する情報の収集を行っている 医師の専門とする分野・経歴に関する情報の収集を行っている:(がん診療連携拠点病院)実績	69 (0.81)	24 (0.83)	111 (0.82)	116 (0.79)	320 (0.81)
8.セカンドオピニオンの提示が可能な医師の情報の収集を行っている:(がん診療連携拠点病院)実績	61 (0.72)	22 (0.76)	95 (0.70)	111 (0.76)	289 (0.73)
9.在宅療養支援を実施している医療機関の情報収集を行っている:(がん診療連携拠点病院)実績	77 (0.91)	28 (0.97)	118 (0.87)	129 (0.88)	352 (0.89)
10.緩和ケア病棟を設置している医療機関の情報収集を行っている:(がん診療連携拠点病院)実績	78 (0.92)	27 (0.93)	122 (0.90)	133 (0.90)	360 (0.91)
11.地域の医療機関におけるがん医療の連携協力体制の事例に関する情報の収集を行っている:実績	69 (0.81)	22 (0.76)	96 (0.71)	103 (0.70)	290 (0.73)
市民講演会の定期開催	49 (0.58)	16 (0.55)	81 (0.60)	81 (0.55)	227 (0.57)
直通電話の有無	68 (0.80)	21 (0.72)	58 (0.43)	64 (0.44)	211 (0.53)
面談の予約必要	33 (0.39)	7 (0.24)	30 (0.22)	42 (0.29)	112 (0.28)
電話相談の実施	84 (0.99)	27 (0.93)	130 (0.96)	140 (0.95)	381 (0.96)
Fax相談の実施	18 (0.21)	7 (0.24)	51 (0.38)	35 (0.24)	111 (0.28)
電子メール相談の実施	14 (0.16)	4 (0.14)	45 (0.33)	43 (0.29)	106 (0.27)